

長い夏休みが明け、校舎に元気な子どもたちの声が戻ってまいりました。ご家庭での温かい見守りとサポートに心より感謝申し上げます。2 学期は行事も多く、子どもたちが仲間と共に大きく成長する季節です。PTA 活動でも、学校とご家庭をつなぎながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるようサポートしてまいります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

ほうこく
1

香川県特別支援学校知的障害教育校 PTA・親の会連絡協議会(6校)運営委員会

令和 8 年度香川県特別支援学校知的障害教育校 6 校 P T A ・親の会連絡協議会運営委員会が、6 月 8 日（月）に香川西部支援学校にて開催され、役員 4 名、校長先生、PTA 担当三木先生が参加しました。令和 7 年度の事業報告および会計報告、令和 8 年度の事業計画等について審議されました。また、各校 P T A ・親の会でどのような取組をしているか等について情報交換を行いました。全体会は 1 月 1 4 日（木）に香川西部支援学校にて開催される予定です。

ほうこく
2

香川県特別支援学校 PTA連絡協議会(10校)運営委員会

令和 8 年度香川県特別支援学校 PTA 連絡協議会（1 0 校）運営委員会が、6 月 1 8 日（木）に本校にて開催されました。本校からは、役員 1 6 名、校長先生、PTA 担当岩崎先生、三木先生が参加しました。

令和 7 年度の事業報告および会計報告、令和 8 年度の役員について、令和 8 年度の事業計画および予算案について審議されました。その後行われた情報交換会では、各支援学校における取組や、それぞれの家庭のリアルな困りごと、知りたいことなどについて意見交換でき、大変有意義な会となりました。

1 1 月 5 日（木）には、1 0 校全体会として『障害基礎年金勉強会』が本校にて開催されます。制度や手続きの仕方について、また今から準備できることなどについて、実際の手続き書類を見ながら勉強できる実用的な内容です。多くの方のご参加をお待ちしています。

ほうこく
3

令和8年度 県知事及び県教委への要望



要望書に上げた一部をご紹介します！
継続して、声をあげていきたいと思
います！！

【各学校の教育活動の充実のための意見や要望】

- ★不登校児童に対する学びの場の確保、支援体制の明確化及び現場運用の平準化の推進について香川県独自の具体的支援の構築を明確化していただきたいです。
- ★ICT を活用した職業教育のさらなる充実と、学校で習得した技能を活かせる就労先となる職域職種拡大の促進。進路指導、高等部教員を行政でサポートしていただき、行政主催にて学校・特別支援学校 PTA と連携し、「事業所・企業説明会」を開催していただきたいです。
- ★教員の働き方改革の推進で、特別支援の免許保有者が特別支援教育に携わる場合の手当等の仕組みの構築を拡大していただきたいです。

【教育環境の整備・充実のための意見や要望】

- ★自主通学等で利用する公共交通機関のことでんバス「支援学校」の停留所の整備を、行政からも促してほしいです。具体的には、国の障害者基本計画などでも、教育・福祉・地域の連携による総合的な支援体制づくりが重視されていますが、学校周辺のバス停の環境改善で、行政が中心となり、学校、保護者、自治体の道路管理者、バス事業者を交えた「通学安全連絡会」のような場をもち意見交換を行ってほしいです。
- ★すべての児童生徒が安心して学びに向かうことができる学習環境の充実が、将来の自立と社会参加につながる重要な課題です。特に読み書きに困難のある児童生徒に対して、自分の力を発揮しやすい学習環境や指導体制を整えていきたいです。

【部活動の充実や活性化のための意見や要望】

- ★特別支援学校でも多様な障害特性に配慮した部活動の推進を、行政・地域が連携して検討していただきたいです。

第68回中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会(香川大会)



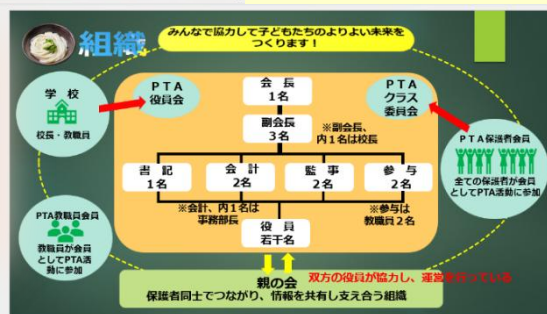
7月10日(金)、『愛さん讀～認め合い・支え合い・信じあい～』が大会テーマでレグザムホールにて開催されました。本校 PTA 会長が、研究協議にて特別支援学校として全国で初めて発表しました。

香川中部支援学校 PTA 活動の概要

本校の PTA 活動の概要や組織図を分かりやすく説明させていただきました。



研究協議の講演内容は、22 ページにわたる充実した内容となりました。



本校の切れ目のない支援「一貫体制の取り組み」を分かりやすく説明させていただきました。



「チューブくん新聞」は、学校の「今」のリアルを可視化し、授業の様子、行事の裏側など普段保護者の目の届かない子どもの生の姿をありのまま伝えます。また家庭での会話の中で、「広報誌にこれが載っていたよ」という親子が手を取り合うきっかけをつくり、自然な会話が弾む団欒を生み出す種を蒔けるような構成になっています。

今年度のチューブくん新聞は「リアル!! 修学旅行(仮)」を予定しています。

「学校の存在を知ってもらう」だけでなく、「等身大の生徒たちの姿」や「特別支援学校が地域に提供できる価値」を伝えることで、物理的な距離だけではなく、心の距離を縮めることを願い、今後も積極的に県立高等学校 PTA と関わっていきたいと思っています。

私たちの子どもたちは、毎日を全力で生きています。私が社会に望むのは、特別な感情ではなく「ほんの少しの想像力と温かい眼差し」です。今日のこの会を通して交流させていただけることを心より感謝しております。将来、どこかで子どもたちが出会い、触れ合い、心が通じ、共に社会経験を重ねていけるような社会の実現のために今後とも特別支援学校、子どもたち、PTA をどうぞよろしくお願いいたします。

Thank you so much

～大会を終えて～

さまざまな学校の PTA が抱える共通の課題(役員負担の軽減や ICT の活用など)を知り、非常に視野が広がりました。今回の大会で得た知見や多様な視点を、今後の中部支援学校の PTA 活動や保護者同士のネットワークづくりに活かしていきたいと思っています。

PTA 執行部役員一同